

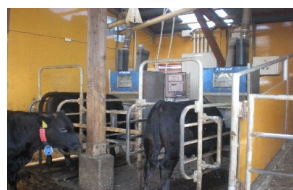
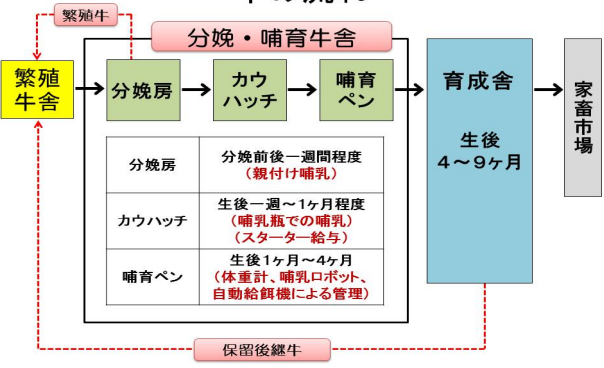
経営体の概要

- ・所在地：北海道沙流郡日高町
- ・経営体名：株式会社 S牧場
〔肉牛経営法人 H19年設立〕
- ・家畜頭数：326頭（繁殖牛：和牛111、交雑種72）
（育成牛：和牛131、交雑種12）
- ・経営面積：放牧地25ha
- ・役員員数：2名＋従業員・パート2名【R6.4現在】

導入技術

- ・哺乳ロボット
- ・濃厚飼料給餌機
- ・体重計
- ・監視カメラ（牛恩恵）

牛の流れ



導入経緯

- 平成9年にF1素牛生産を主体とした経営を開始、平成19年に法人化。翌年に大規模牛舎の建設と合わせて自動管理システムを導入。
- 粗飼料の大半は地域のTMRセンターから購入し、飼養管理に特化した経営を実施。
- 経営の発展・安定化に向けて、コスト低減を行いつつ、和牛の繁殖牛を増やす必要性があることから、自動管理システムを活用開始。

取組の特徴・効果

- 哺乳ロボットにより、子牛初期の増体をコントロール可能。
- 分娩後1ヶ月以降の飼養管理は、自動管理システムを活用することで省力化を実現している。同システムは、個体ごとの体重や、ミルク・濃厚飼料の摂取量を容易に把握可能なため、毎日チェックし、不調の早期発見や治療に活用。
- 温度センサーを活用とした畜舎換気も実施。
- F1繁殖牛を利用した受精卵移植や発酵牛床・戻し堆肥の敷料利用を行いつつ、多頭飼育を適正に管理。
- これらの取組により、少ない労働力でも従業員・パートの休日が確保されている。